

## FFD-30FS/FW/SS/SWシリーズ

固定式

両方向性  
調整式一方方向性  
自己調整式

## フリーストップに使えるフリクションダンパー (外径φ30)

RoHS対応品

●製品の仕様は予告なく変更することがあります。

## 仕様



型式	定格トルク	回転方向	定価 (税抜)	型式	定格トルク	回転方向	定価 (税抜)
FFD-30FS-R102	0.1±0.01N・m (1±0.1 kgf・cm)	時計方向	¥1,800	FFD-30SS-R102	0.1±0.01N・m (1±0.1 kgf・cm)	時計方向	¥1,800
FFD-30FS-L102		反時計方向		FFD-30SS-L102		反時計方向	
FFD-30FS-R502	0.5±0.05N・m (5±0.5 kgf・cm)	時計方向		FFD-30SS-R502	0.5±0.05N・m (5±0.5 kgf・cm)	時計方向	
FFD-30FS-L502		反時計方向		FFD-30SS-L502		反時計方向	
FFD-30FS-R103	1±0.1N・m (10±1 kgf・cm)	時計方向		FFD-30SS-R103	1±0.1N・m (10±1 kgf・cm)	時計方向	
FFD-30FS-L103		反時計方向		FFD-30SS-L103		反時計方向	
FFD-30FS-R153		時計方向		FFD-30SS-R153		時計方向	
FFD-30FS-L153	1.5±0.15N・m (15±1.5 kgf・cm)	反時計方向		FFD-30SS-L153	1.5±0.15N・m (15±1.5 kgf・cm)	反時計方向	
FFD-30FW-R153		時計方向		FFD-30SW-R153		時計方向	
FFD-30FW-L153		反時計方向		FFD-30SW-L153		反時計方向	
FFD-30FW-R203	2±0.2N・m (20±2 kgf・cm)	時計方向		FFD-30SW-R203	2±0.2N・m (20±2 kgf・cm)	時計方向	
FFD-30FW-L203		反時計方向		FFD-30SW-L203		反時計方向	
FFD-30FW-R253	2.5±0.25N・m (25±2.5kgf・cm)	時計方向	FFD-30SW-R253	2.5±0.25N・m (25±2.5kgf・cm)	時計方向		
FFD-30FW-L253		反時計方向	FFD-30SW-L253		反時計方向		
FFD-30FW-R303	3±0.3N・m (30±3 kgf・cm)	時計方向	FFD-30SW-R303	3±0.3N・m (30±3 kgf・cm)	時計方向		
FFD-30FW-L303		反時計方向	FFD-30SW-L303		反時計方向		

●定格トルクは回転速度20rpm、温度20～25℃時測定

\*最大使用回転速度

30rpm

\*キャップカラー R:黒 L:白

\*最大使用サイクル

13cycle/min

\*製品質量

FFD-30FS 17 ± 2g

\*使用温度範囲

-10～60℃

FFD-30FW 31 ± 2g

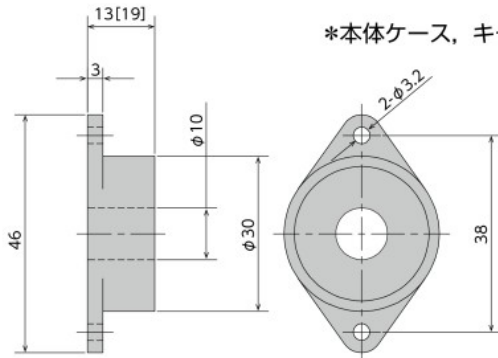
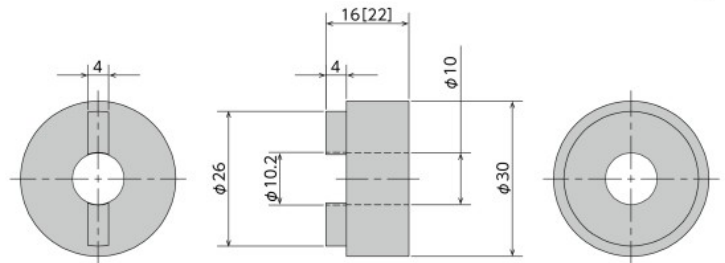
(90%RH)

FFD-30SS 16 ± 2g

\*本体ケース、キャップ材質

ポリアセタール(POM)


FFD-30SW 30 ± 2g

FFD-30FS-\*\*\*\* (取付部あり)  
([ ]内の数値はFFD-30FW-\*\*\*\*の寸法です)FFD-30SS-\*\*\*\* (取付部なし)  
([ ]内の数値はFFD-30SW-\*\*\*\*の寸法です)

## 使用方法

①カタログ写真を上から見てダンパーは時計回り(R)、反時計回り(L)にトルクが発生するタイプがあります。(ダンパー内部にワンウェイクラッチを内蔵しています)

②ダンパーは構造上軸受けを持たないので、ダンパーに装着するシャフトには必ず軸受けを設けてください。表1

シャフト外径寸法	φ10 <sup>+0.03</sup>
表面硬度	HRC55以上
焼き入れ深さ	0.5mm以上
表面粗さ	1.0Z以下
先端面取り (ダンパー挿入側)	 C0.2~C0.3 (orR0.2~R0.3)

③定格トルクより小さい負荷では、フリーストップとしても使用可能です。

④ダンパーに装着するシャフトは表1推奨寸法を参考にして製作してください。  
推奨寸法以外のシャフトを使用すると、シャフトの滑り等が発生する可能性があります。

⑤ダンパーにシャフトを挿入する際は、ダンパーのトルク発生方向と逆にシャフトを回転させながら挿入してください。  
正転方向から無理にシャフトを挿入すると内部のワンウェイクラッチが破損する可能性がありますのでご注意ください。